

4 交通事業会計

[概要]

平成31年度(2019年度)交通事業会計予算は、業務の予定量として、乗合事業については、稼働バス台数19,043台、走行キロ数2,793千km、輸送人員2,351千人を、貸切事業では、稼働バス台数1,553台、走行キロ数213千km、輸送人員56千人を見込み、これらに必要な諸経費及び運送収入等を計上しました。

これにより、収益的収支については、自動車事業収益の1,044,182千円から消費税及び地方消費税分40,717千円を控除し、自動車事業費用の1,019,640千円から消費税及び地方消費税分26,382千円を控除した結果、当年度純利益は10,207千円となり、当年度未処分利益剰余金は17,037千円となる見込みです。

また、資本的収支については、収入は、企業債等を計上し、支出は、路線バス2台の更新等に要する建設改良費と企業債償還金を計上しました。

その結果、資本的収入35,185千円に対し、資本的支出は153,623千円となり、収支差引118,438千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。

[収益的収支及び資本的収支]

収益的収支

項目		予算額(千円)
収 入	乗合収入	515,060
	貸切収入	110,935
	その他収入	418,187
収入計		1,044,182
支 出	職員給与費	685,471
	燃料・油脂費	83,548
	車両修繕費	46,626
	減価償却費	73,042
	その他支出	130,953
支出計		1,019,640
差引		24,542
消費税及び地方消費税		△ 14,335
当年度純利益 (△は当年度純損失)		10,207
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)		17,037

資本的収支

項目		予算額(千円)
収 入	企業債	30,000
	固定資産売却代金	668
	国・県補助金	715
	工事負担金	3,637
	他会計補助金	165
収入計		35,185
支 出	建設改良費	101,342
	企業債償還金	52,281
支出計		153,623
差引		△ 118,438

資本的収支差引不足額は、損益勘定留保資金等で補てんします。